

シンポジウム

防災と地方創生

震災5年目、これからの東北

日時

3月22日(火)

開会13:00(開場12:30)／閉会16:00

会場

ウェスティンホテル仙台 2階

(仙台市青葉区一番町1-9-1)

東日本大震災発生から5年目を迎えます。さまざまな課題と向き合いながら、今後、復興をさらに加速させ、東北の災害に強いまちづくり、地域の活性化も視野に入れた復興を進めていくには何が必要でしょうか。この5年間を振り返りながら、多角的に話し合います。

入場無料

参加定員
500人

基調講演

「復興と経済成長 東北の再生こそが日本を デフレから脱却させる！」

経世論研究所所長 三橋 貴明氏

1969年、熊本県生まれ。東京都立大学(現・首都大学東京)経済学部卒。外資系IT企業などを経て、2008年、中小企業診断士として独立。07年、韓国経済を分析した「本当はヤバイ!韓国経済」がベストセラーに。単行本執筆に加え、雑誌への連載、寄稿、講演活動に取り組む。



パネル討論

「震災5年目、東北の防災とまちづくりを考える」



今村 文彦氏

東北大学災害科学国際研究所長

1961年、山梨県生まれ。東北大学大学院工学研究科博士課程修了。同大学院工学研究科教授、同大災害制御研究センター長を経て2014年から現職。災害科学や津波の流体波動数値計算、国内外の歴史地震津波痕跡調査など、津波防災にかかわる研究に取り組んでいる。専門は津波工学。



千葉 望氏

ノンフィクション作家

陸前高田市出身。早稲田大学文学部卒。佛教学大学院院仏教文化専攻修了。東日本大震災時に実家の寺院が避難所になった日々様子を著書「共に在りて 陸前高田・正徳寺、避難所となった我が家の140日」として出版。その後も被災地の取材を重ねる。



武田 真一氏

河北新報社
論説委員会副委員長
(兼コーディネーター)

1959年、栗原市生まれ。東北大学文学部卒。81年河北新報社入社。東京支社編集部、盛岡総局長、編集局報道部長などを経て、2014年から現職。

「震災詩」朗読



渡辺 祥子氏

アナウンサー・朗読家
(兼総合司会)

登米市生まれ。東北学院大学経済学部卒。1991年、フリーアナウンサーとして独立。仙台を拠点にラジオパーソナリティー、CMナレーター、司会として活躍するほか、98年から朗読家としても活動。日本ロゴセラピスト協会認定セラピスト。

◇主催：一般社団法人 東北地域づくり協会、河北新報社

◇後援：国土交通省東北地方整備局、宮城県、仙台市、東北六県商工会議所連合会、一般社団法人 東北経済連合会、仙台経済同友会、一般社団法人 建設コンサルタンツ協会東北支部

◇協力：一般財団法人 みちのく創生支援機構、社会資本整備検討会(日刊建設工業新聞社、日刊建設産業新聞社、日刊建設通信新聞社、建設新聞社)

参加申し込み、申し込み先は裏面をご覧ください。

シンポジウム 防災と地方創生

震災5年目、これからの東北

日時 **3月22日(火)**
開会13:00(開場12:30) / 閉会16:00

会場 **ウェスティンホテル仙台 2階**
(仙台市青葉区一番町1-9-1)

参加申し込み

郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加希望人数(3人まで)を明記し、Eメール、FAX、はがきでお申込みください。
応募多数の場合は抽選とし、聴講券の発送をもって発表に代えさせていただきます。
※お預かりした個人情報は適切に管理し、本シンポの発送・管理のみに使用します。

申し込み先

河北新報社企画事業部「防災と地方創生シンポ」係

- ◆Eメール j-oubo3@po.kahoku.co.jp
- ◆FAX 022-211-1221
- ◆ハガキ 〒980-8660 河北新報社企画事業部(住所記載不要)

いずれも件名に「防災と地方創生シンポ」を明記ください。
※お席に余裕がある場合、直前・当日も受付致します。お問い合わせ下さい。

締め切り

3月17日(木)
必着

お問い合わせ

河北新報社企画事業部 ☎022-211-1332(平日9:30~17:30)

必要事項をご記入のうえ、このままFAXにてお送り下さい。

ご住所 〒
(聴講券郵送先)

ご氏名 フリガナ
(ご本人)

年齢

歳

電話番号

() -

参加希望人数

名

ご住所 〒
(聴講券郵送先)

ご氏名 フリガナ
(ご本人)

年齢

歳

電話番号

() -

参加希望人数

名

FAX お申し込み番号

022-211-1221

「防災と地方創生シンポ」係